

## 平成25年度献血推進協議会 会議録

開催日時：平成26年3月17日（月） 13:30～14:20

開催場所：総合福祉保健センター4階会議室

出席者

委員

堀江直茂委員、大石孝委員、

永野英世委員（代理 隅内奈々技師）、

川崎幸子委員、渋谷将重委員、豊田朋二委員、三浦弘委員

千葉県赤十字血液センター

末吉和夫副部長、大橋恵次推進一係長

事務局

田中延佳健康増進課長、鈴木恵子主幹、菅井智美主幹

本間恵副主幹、富永範子主査

傍聴者 なし

議題

1. 平成25年度献血事業実績について
2. 平成26年度献血事業実施計画について
3. その他

### 1. 会長・副会長の選出

（事務局）

本日は、委嘱後初の会議のため、会長・副会長の選出をお願いしたいと思います。

「鎌ヶ谷市献血協議会設定要綱」第3条の規定により委員の互選となっておりますので、よろしくお願いたします。

慣例では、本協議会の会長・副会長につきましては、会長に1号委員保健医療関係団体の代表、副会長に関係行政機関の代表の方にお引き受けいただいておりますが、いかがいたしましょうか。

(一同)

異議なし

(事務局)

ありがとうございます。

それでは、会長に堀江委員、副会長には、本日代理の方の出席となっておりますが習志野健康福祉センター副センター長永野委員と決定させていただきます。

## 2. 会議録署名人の選任及び会議録の記載について

(堀江会長)

早速、お手元の会議次第に基づき、議事進行させていただきます。

「会議録署名人の選任について」事務局説明願います。

(事務局)

会議録署名人は、後日、事務局で本日の記録を作成いたしますので、その確認をお願いするものです。

慣例ですと、名簿順としており、今回はご出席者の中で、川崎委員と渋谷委員をお願いしたいと存じます。

(堀江委員)

皆さんいかがですか。

(一同)

異議なし

(堀江会長)

それでは、川崎委員と渋谷委員にお願いします。

また、会議録については概要記載か、一言一句記載か、また、発言者名の記載はいかがいたしますか。事務局から説明してください。

(事務局)

これまでの概要記載し、発言者名を記載しておりました。

(堀江会長)

皆さん今までどおりでよろしいですか。

(一同)

はい。異議なし

(堀江会長)

では、そのように事務局で会議録の作成をお願いします。

### 3. 会議の公開について

(堀江会長)

それでは、議事に入りますが、この会議の公開について、事務局より説明してください。

(事務局)

「鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、法令または条例の規定により会議が非公開とされる場合を除きまして、原則公開となっておりますので、当会議におきましても、原則公開とさせていただきます。

(堀江会長)

皆さん、どうでしょう、よろしいですか。

(一同)

異議なし

(堀江会長)

事務局、本日は傍聴の希望はありますか。

(事務局)

傍聴の希望の方はありません。

(堀江会長)

それでは、早速、お手元の会議次第に基づき、議事進行させていただきます。

議題1、平成25年度献血事業実績について、事務局説明をお願いします。

(事務局)

平成25年度献血事業実績の鎌ヶ谷市主催事業状況のうち、1月末に鎌ヶ谷市消防本部で実施予定でしたが、工事のため中止となりました。

献血区分別実施状況は200ml献血については、実施人数82人、400ml件献血については、実績人数393人でした。

なお、平成23年、24年も載っておりますが、25年度分につきましては2月末現在の実績となっております。同様に同じ保健所管内の習志野市、八千代市のこちらも2月末となっております。参考資料として、県内各市町村の2月末現在の献血状況をつけさせていただきました。

(血液センター)

平成24年度全国では520万人強の方に献血のご協力をいただいております。その結果、輸血用血液といたしまして、医療機関への届けにつきましては、ほぼすべて、献血からご協力いただいた血液でまかなうことができました。

千葉県におきましては、平成24年度の献血の受け入れにつきましては、延べで253,128人からのご協力をいただいております。平成24年度253,050人の目標に対しまして、受け入れ目標の数のほぼ100%と対前年度比で6,596人の増となっております。

平成24年度の月別の状況はどうかというところでございますが、4月、5月は、23年度の同月に比べますと、低めになっておりますが、その他の月につきましては、ほぼ昨年並み、もしくは、平成23年同等というところで、血液の確保はされております。

この4月、5月の大きな伸びにつきましては、3年前の大震災の影響でもございまして、非常に献血にご協力いただけた方が一時的に多かったという数字となっております。

24年度の年齢別の献血者は、全国的には、特に10代、20代の献血者というものが非常に減少傾向にありまして、これは、1つには、少子高齢化というところもあり、献血人口が減っている状況です。

しかしながら、千葉県につきましては、この10代、20代は、23年度、24年度につきまして、若干上向きです。当県におきましては、若年層の献血率というのは、全国に比べましても、高めになっているという状況です。

この24年度の実績を踏まえまして、25年度の献血の受け入れ目標ですが、24年度より若干少ない、249,202人を予定したところです。

千葉県内の献血でご協力頂いた方からできた赤血球製剤の製造量、千葉県内でその月に供給された赤血球製剤との差を、過不足として表示いたしました。

県内で使用している血液は、県内で賄うという、自県自給というの、基本的な献血者確保のスタンスでございますので、当県におきましては、24年度から25年度の2月までで、過不足が、24年度5月－209単位、25年度7月－544単位、10月－570単位、1月－10単位というところで、この2年間で、この4か月だけがマイナスで、他はプラスという状況になっております。

この5月、7月のマイナスは、血液の期限的なこともありまして、期限管理上の採血調整を関東甲信越管内で行ったという結果になっております。

10月につきましては、27号28号の台風が同時上陸したため、計画どおりの採血が出来なかった状況です。26年2月は近年まれに見る大雪でした。過不足につきましては、プラス963単位で、供給量が計画を下回ったというようなこともございましてプラスの確保ができました。

なお、この過不足についての血液プラスの部分は、全国各都道府県によっては、不足している地域、センター、県があるというところでの調整をして、血液を回して、全国プラスになっても無駄のない運用をしています。

逆に、マイナス部分についても、県内の医療機関にお届けできなかったということはありません。他県からの応援をいただいて、過不足なくお届けしています。

全国の赤血球の在庫推移から、適正在庫量というのが定められておりまして、おおむね1日の使用分の3日分を適正在庫と定めております。

センターといたしましては、この適正在庫量を下回らないよう運用に努めております。血液型も4種類ありますので型別の不均衡がでてしまうので、型によっては適正ラインよりも上を維持目標に定めて、全国で在庫管理をしています。

しかしながら、26年3月は、大雪の影響でまだ、24年度のラインまでは持ち上がっていません。3月は寒さが厳しい、または花粉症の方が多く発症される時期でなかなか献血にご協力いただけない、時期と相まって、なかなか持ち上がらない状況です。

なお、献血者につきましては、約77%の方が50歳未満の方からご協力を頂いています。献血による血液を使用される患者様は、50歳以上が85%を占めています。

厚生労働省の試算によると、2027年には101万人の献血者が不足するとでています。日本赤十字社といたしましても、これから、少子高齢化が進む中、若年層の献血者の比率の向上というのが、重要として、全社的に取り組みながら、献血人口の確保に努めているところです。

(堀江会長)

どうも有難うございました。只今の説明に対し、何かご質問がございましたらお願いいたします。

(豊田委員)

最後のグラフを見ると、適正水準をだいぶ上回っていますが、余ったものは、結局、全部破棄するのですか。

(血液センター)

当然期限がありますので、赤血球で申し上げますと、採血でご協力頂けてから21日間でございます。その間で期限が切れないよう、全国的な運用を努めています。この関東甲信越管内でいいますと、離島は血液をプールしている関係があり、そういった部分では、若干の期限切れというのが、発症しております。それ以外につきましては、ほぼ特殊な血液以外は、期限切れなく皆様にご協力いただいた血液を、すぐにお届けしている状況です。

ただし、在庫が200%まで上がってしまうと、全国的に血液を調整しても、調整しきれず、期限切れというようなことも懸念されます。

(堀江会長)

その他、何かご質問はありましたら。

(三浦委員)

適正目標というこの数値は、どのような形で数値目標がされるのでしょうか。

(血液センター)

血液の供給に対する数値は、その月の献血必要数、献血者数から作られた血液数と申し上げたらよろしいのでしょうか。例えば100人献血にご協力頂き、そのうちの色々な検査でひっかかったりとか、ご協力頂いたが量に満たなかった等、すべて100人分輸血用血液という形で作られません。その作られないものを除いた、すべての血液は医療機関にお届けできるという血液数です。

(三浦委員)

わかりました。

(堀江会長)

その他、何かご質問がありましたらお願いします。なければ議題1については承認といたします。

次に議題2平成26年度献血事業実施計画について事務局から説明を願います。

(事務局)

鎌ヶ谷市主催事業実施計画については、移動採血車の稼働を考慮し、表のとおり計画を立てました。平成25年度と同様の時期に予定しておりますので、実施機関の調整が済み次第、各協力団体様へは、後日、確認の連絡をさせていただきますと思います。

なお、当初日程の変更が生じたおりには、お手数ですが、各担当者の方に速やかに連絡願います。

(事務局)

平成23年度、24年度、25年度とだんだん実施人数が落ちているという状況です。他市と比べましても、悪い実施状況になっています。

がん検診の会場でピーアールDVD「まひろちゃん献血」と「有難ういっぱいいわせて」を流し、また、市役所会場でのイベントにおいて、献血推進事業の掲示等しているところですが、鎌ヶ谷市の事業体の少なさとかもありまして、なかなか伸びません。

庁舎内での実施時の市職員の献血におきましても、出来るだけ、今後も推進し努力してまいりますので、26年度以降もよろしくご協力いただければと思っております。

(堀江会長)

只今の説明に対し、ご質問はございませんか。

特段なければ、議題2については、承認といたします。

(堀江会長)

次に、議題3、その他に入りますが、委員の皆様、この際是非にということがありますでしょうか。あれば、お願いします。

血液センターの方、何かありますか。

(血液センター)

ありません。

(堀江会長)

事務局、何かありますか。

(事務局)

今期委員の任期が平成27年7月29日までとなっておりますが、期日前に委員の交代等が生じた場合には、鎌ヶ谷市健康増進課まで、ご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

(堀江会長)

他になれば、以上で本日の会議を終了いたします。

皆様、大変お忙しいところ、本日の協議会にご出席頂きまして有難うございました。また、議事の廉潔な進行にご協力いただきまして有難うございました。

閉会